

ISSN 1349-7758

# 日本臨床皮膚科医会雑誌

JOURNAL OF THE JAPAN  
ORGANIZATION OF CLINICAL DERMATOLOGISTS



Vol.24, No.2, 2007 (H19.4.5号)

## 第23回日本臨床皮膚科医会総会・ 臨床学術大会



### ==== プログラム／抄録集 =====

会期: 2007年5月19日(土)・20日(日)

会場: 広島国際会議場  
広島市中区中島町1番5号 (平和記念公園内)  
TEL: 082-242-7777

会頭: 水野 勝 (医療法人社団 水野皮ふ科)  
事務局長: 木村 勇 (医療法人 西富皮膚科医院)  
実行委員長: 高橋 博之 (緑井皮フ科クリニック)

○事務局○  
〒732-0052 広島市東区光町1-11-10  
医療法人社団 水野皮ふ科  
TEL&FAX: 082-263-6775  
<http://www.cs-oto.com/jocd23/>

## 一般演題3《皮膚炎・蕁麻疹・薬疹など》

座長 地土井 裕壱／沼田 恒実

### 15 皮膚疾患における「アミノ酸生活」液体洗剤・柔軟剤の安全性と有用性

野村 有子<sup>1</sup>、玉置 晴美<sup>2</sup>

<sup>1</sup>野村皮膚科医院、<sup>2</sup>株式会社たまき

アトピー性皮膚炎をはじめとするアレルギー性皮膚疾患、乾燥性皮膚疾患、ならびに外的刺激に対して皮膚が弱い乳幼児・高齢者などでは、衣類による摩擦や肌着に残留している洗剤・柔軟剤により乾燥・湿疹・かゆみが生じていることに、日々の診療で遭遇することがしばしばある。皮膚科医が皮膚の弱い人でも安心して使用できる洗剤・柔軟剤を推奨するにあたって、ある程度のエビデンス、すなわち皮膚への安全に優れていること、使用感のいいこと、皮膚疾患を悪化させないことなどの条件が求められている。今回、我々は「アミノ酸生活」液体洗剤・柔軟剤について、その安全性と有用性をパッチテストならびに使用試験にて検討したのでその結果を報告する。

アトピー性皮膚炎もしくは接触皮膚炎の患者22例でパッチテストを行ったところ、液体洗剤で陽性2例、柔軟剤では全例陰性であった。またアトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、皮脂欠乏症性湿疹いずれかを有する患者16例にて4週間の使用試験を行ったところ、皮膚所見の全般改善度は改善以上が73.3%、有用性はやや有用以上が100%であった。アンケートでは9割以上がまた使用したいと高い満足度が得られた。有害事象は1例も見られず、本試料は、皮膚のアレルギー性疾患や乾燥性疾患に安全かつ有用に使用できると考えられた。

## 皮膚疾患における「アミノ酸生活」 液体洗剤・柔軟剤の安全性と有用性

野村皮膚科医院 野村有子  
株式会社たまき 玉置晴美

### 安全な洗剤・柔軟剤とは?

お客様アンケート  
 「アトピーの子に使えた」  
 「衣類がふんわりすべすべ」  
 「子どもの首まわりがかゆがらなくなった」  
 「着心地がいい」  
 「肌が敏感だが安心して使えた」  
 本当に有効なのか?安全なのか?



### 「アミノ酸」液体洗剤・柔軟剤

「アミノ酸生活」液体洗剤  
 アミノ酸系洗剤 (N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-グルタミン酸塩)  
 ポリオキシエチレン  
 ヤシ油脂肪酸ジ  
 カチオン化セル  
 弱酸性  
 生分解性がよく  
 環境にやさしい

「アミノ酸生活」柔軟剤  
 アミノ酸誘導 (グルタミン酸・アルギニン・  
 天然脂肪酸・  
 L-アルギニン  
 抗菌・防臭効果  
 ウイルスの不活性化  
 静電気除去効果  
 塩化ジアルキル  
 イソプロピルアルコール  
 エチレングリコール



### 安全性・・・パッチテスト

対象: 野村皮膚科医院に通院中の患者でパッチテストに同意した22例  
 疾患: アトピー性皮膚炎8例・接触皮膚炎14例  
 年齢: 平均年齢42.1歳 (23歳~85歳)  
 男女比: 男性3例・女性19例  
 期間: 平成18年4月~7月  
 方法: 水道水で100倍に稀めた「アミノ酸生活」液体洗剤と「アミノ酸生活」柔軟剤を扇葉製品パッチテスト用鉛創膏を用いて、上背部に2日間間隔貼付した。2日後の鉛創膏をはがし、貼布後の48時間後、72時間後の2日間CDRAG基準に従って判定をした。  
 判定基準: 24時間後に+以上を刺激反応陽性  
 72時間後に+以上をアレルギー反応陽性

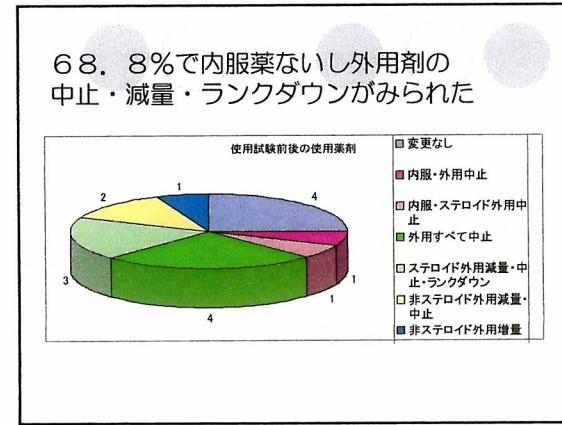
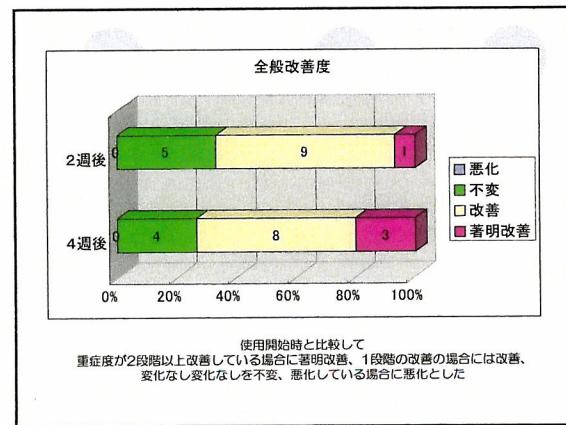
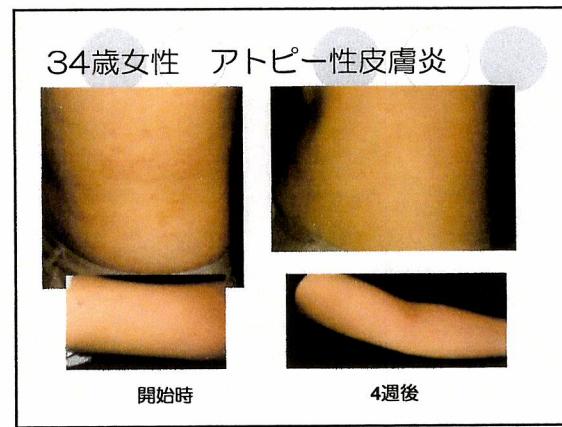
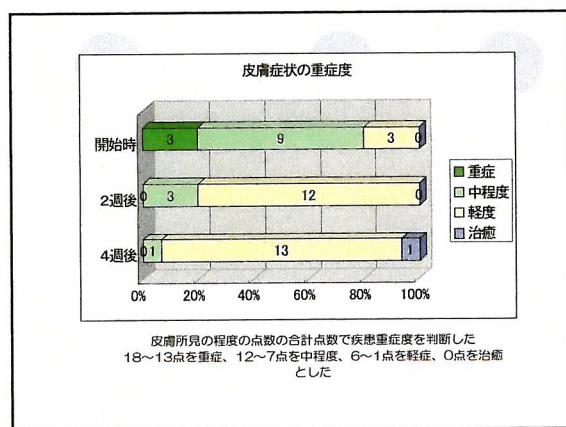
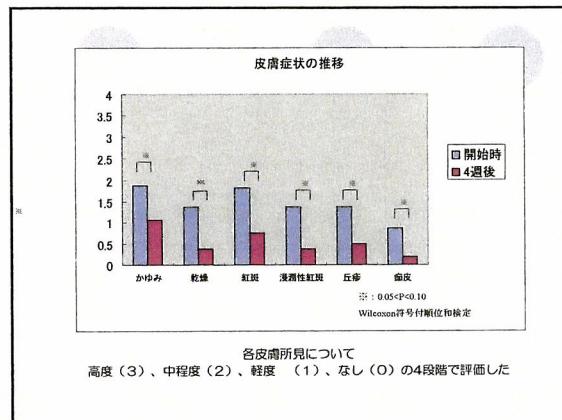
### 「アミノ酸生活」パッチテストの結果

試料	判定	48時間後	72時間後	刺激反応 陽性率	アレルギー陽性 率
「アミノ酸生活」 液体洗剤	-	16	19	9.1%	27.3%
	+?	2	1		
	+	4	2		
	++	0	0		
	+++	0	0		
	-	0	0		
「アミノ酸生活」 柔軟剤	+?	0	0	0%	0%
	+	0	0		
	++	0	0		
	+++	0	0		

### 有用性・・・使用テスト

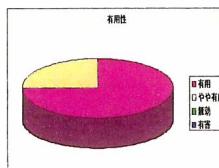
対象: 野村皮膚科医院に通院中の患者で使用テストに同意した16例  
 疾患: アトピー性皮膚炎10例・接触皮膚炎4例  
 年齢: 平均年齢24.5歳 (1歳~46歳)  
 男女比: 男性4例・女性12例  
 期間: 平成18年5月~8月  
 方法: 衣類・タオル・シーツなど家庭内のすべての洗濯の時に  
 「アミノ酸生活」液体洗剤と柔軟剤を4週間使用してもらった。  
 その間、その他の洗剤・柔軟剤・漂白剤等の使用を禁止した。  
 また、使用テスト期間中の使用薬剤については、変更しないこととした。なお症状改善による使用薬剤中止ないしランクダウンはよしとした。

● 観察日：使用開始時、2週間後、4週間後  
 ● 皮膚所見  
 かゆみ・乾燥・紅斑・浸潤性紅斑・丘疹・瘢痕について、高度（3）、中程度（2）、軽度（1）、なし（0）の4段階で評価した。  
 ● 疾患重症度  
 皮膚所見の程度の合計点数で疾患重症度を判断した。18～13点を重症、12～7点を中程度、6～1点を軽症、0点を治癒とした。  
 ● 試験前後の使用薬剤  
 試験開始時と終了時の使用薬剤について検討した。  
 ● 写真撮影  
 各観察日に、被験者の左上腕内側と左側胸部の2ヶ所の皮膚所見をデジタルカメラを用いて撮影した。  
 ● 有害事象  
 各観察日に有害事象の有無について観察を行った。  
 ● アンケート  
 洗濯を行った記録と試験試料の使用状況について洗濯日記として記入してもらった。また、試験終了時にアンケート調査を実施した。



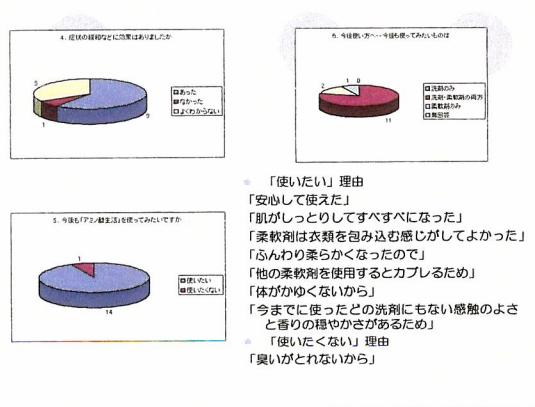
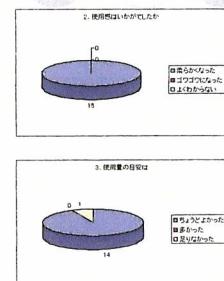
## 使用テスト・・・有用性判定

- 有害事象  
1例もなかった
- 皮膚所見  
かゆみ・乾燥・紅斑・浸潤性紅斑・丘疹・痂皮いずれの症状も改善した
- 全般改善度  
改善以上が73.3%
- 有用性  
やや有用以上が100%



## アンケート結果

- 洗濯回数  
4週間の洗濯回数  
肌着8回～28回（平均18.9回）  
洋服7回～28回（平均18.6回）



## まとめ

- 「アミノ酸生活」液体洗剤・柔軟剤は、安全性が高く使用感もよく、アトピー性皮膚炎・接触皮膚炎・乾燥性皮膚疾患のほか、乳幼児や高齢者、肌の弱い人でも安心して使用できると考えられた。
- 「アミノ酸生活」を使用することにより高い有用性が得られた理由として、下記が考えられた。
  - (1) アレルギーの原因となる洗剤・柔軟剤を除去することができた
  - (2) 衣類が柔らかくなることにより、衣類による摩擦刺激が緩和された
  - (3) アミノ酸そのものによる抗菌効果・ウイルス不活性化・静電気防止効果
- 「アミノ酸生活」のお問い合わせ先・・・株式会社たまき  
Tel 045-720-1186  
<http://www.tamac.co.jp>